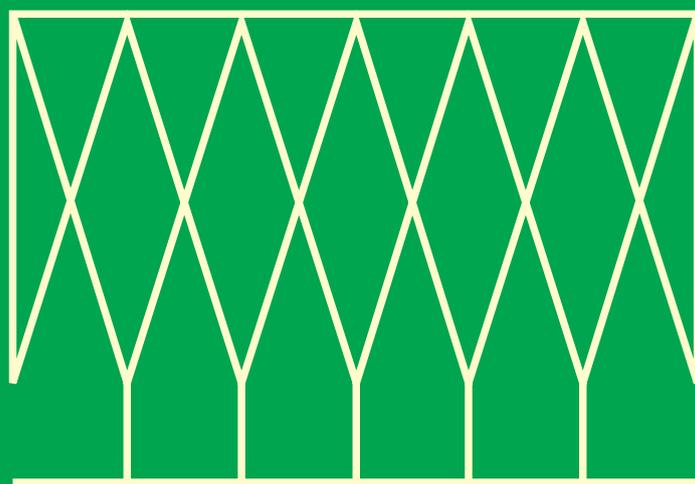


島根大学医学部紀要

— 47 —



令和 6 年

島根大学医学部

SHIMANE DAIGAKU IGAKUBU KIYO
(BULLETIN OF SHIMANE UNIVERSITY FACULTY OF MEDICINE)

Vol. 47

2024

Original Paper

Chisato ITO, Miki KOGA, Mayumi MIYAMOTO:

The Relationship Between Clinical Competence of Nursing and Learning and Emotional Support for
Early Career Nurses (1)

Hanako TSUJI, Mayumi MIYAMOTO, Miki KOGA:

Development and Verification of the Reliability and Validity of a Trauma Nursing Practice Ability
Scale for Emergency Nurses in Facilities with the Hybrid ER System (11)

Saki MORIWAKI, Mayumi MIYAMOTO, Miki KOGA, Yuko TSUMOTO, Hiromi UCHIDA, Yuta
KOBAYASHI:

Comparison of Mid-career Nurses Work-life Balance Between Subject to Childcare Support Measures
and Those Do Not Support (21)

Research Report

Miku NAGANO, Aya SAKAKIHARA:

A Literature Review on Midwife Care for Pregnant and Parturient Women With Mental Illness (29)

Yuka HIROSAWA, Kanako SAKANE, Miki KOGA:

A Concept Analysis of Brazilians Health Literacy for Chronic Disease (37)

Kasumi KORA, Kanako SAKANE, Miki KOGA, Mayumi MIYAMOTO, Yuta KOBAYASHI:

Factors Influencing Self-Management Behaviors and Induction Learning in Patients on Hemodialysis
Maintenance (47)

Kanako SAKANE, Saki MORIWAKI, Miki KOGA, Yuko TSUMOTO, Mayumi MIYAMOTO:

A Survey of Nursing Students' Experiences and Self-Learning on Medication in Clinical Nursing Practice (53)

Report

Mizuki FUKUBA, Aya SAKAKIHARA:

A Literature Review on Care for Glycemic Control to Schizophrenia Patients With Diabetes (61)

Sakiko UTSUNOMIYA, Maki KATO, Sachiko HARA, Eiji TOYA, Misaho WASAKI, Nana MISHIMA,
Michiko SONOYAMA:

Status of Experience With Nursing Skills in Gerontological Nursing Practice I (69)

Degrees Granted

January 2024–December 2024 (75)

原著論文

伊藤千怜・古賀美紀・宮本まゆみ：

キャリア初期看護師の看護実践能力と学習および人的サポートとの関連……………(1)

辻華子・宮本まゆみ・古賀美紀：

Hybrid ER System 導入施設における救急看護師の外傷看護実践能力尺度開発と信頼性・妥当性の検証 ……………(11)

森脇早紀・宮本まゆみ・古賀美紀・津本優子・内田宏美・小林裕太：

中堅看護師の育児支援策対象者と非対象者でのワーク・ライフ・バランスの比較……………(21)

研究報告

長野未来・榊原文：

精神疾患合併妊産婦に対する助産師の支援に関する文献検討 ……………(29)

廣澤有香・坂根可奈子・古賀美紀：

ブラジル人の慢性疾患に対するヘルスリテラシーの概念分析 ……………(37)

河良香澄・坂根可奈子・古賀美紀・宮本まゆみ・小林裕太：

血液透析維持期にある患者の自己管理行動と導入期の患者の学習状況に影響を与える要因……………(47)

坂根可奈子・森脇早紀・古賀美紀・津本優子・宮本まゆみ：

臨地実習における看護系大学生の服薬に関する看護経験および自己学習に関する調査……………(53)

資 料

福馬美月・榊原文：

糖尿病を有する統合失調症患者への血糖管理のための支援に関する文献検討 ……………(61)

宇都宮咲子・加藤真紀・原祥子・鳥谷英二・和崎美紗穂・三島奈菜・園山道子：

老年看護学実習 I における看護技術の経験状況 ……………(69)

学位授与

2024（令和6）年1月－12月……………(75)

編 集 担 当 委 員

*橋本龍樹(臨床看護学) 秋鹿都子(臨床看護学)
和田孝一郎(薬理学) 伊藤智子(地域・老年看護学)
矢野彰三(臨床検査医学) (*印……編集担当者代表)

Editors

*Ryuju HASHIMOTO Satoko AIKA
(Clinical Nursing) (Clinical Nursing)
Koichiro WADA Tomoko ITO
(Pharmacology) (Community Health and Gerontological Nursing)
Shozo YANO (*Editor-in-Chief)
(Laboratory Medicine)

令和7年3月発行

発 行: 島根大学医学部
医学部長 石原俊治

島根県出雲市塩冶町89-1
(〒693-8501)

印 刷: (有)ナガサコ印刷
出雲市下横町350

(表紙デザイン・築地松)

学位授与 2024(令和6)年1月-12月

学位の種類：博士(医科学)

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	発表雑誌名・年・巻・ページ	主査	副査
川原 洋	甲第637号	2024年 2月07日	Prognostic Role of Apolipoproteins on Long-term Major Adverse Cardiac Events After Percutaneous Coronary Intervention	Cardiovascular Revascularization Medicine. 2024;61:85-92.	林 健太郎	山崎 和裕 岡本 貴行
岡田 裕枝	甲第638号	2024年 3月15日	Hyperandrogenism Induces Proportional Changes in the Expression of Kiss-1, Tac2, and DynA in Hypothalamic KNDy Neurons	Reproductive Biology and Endocrinology. 2022;20(1):91.	藤谷 昌司	和田耕一郎 山本 昌弘
ANDI MASDIPA	甲第639号	2024年 3月22日	Flow Pressure Characteristics of the Ahmed Glaucoma Valve and Possible Effect of Entrapped Air in the Tube	Translational Vision Science & Technology (TVST). 2023;12(4):16.	中村 守彦	岩下 義明 兒玉 達夫
石塚 真士	甲第640号	2024年 3月22日	Bioactive Regeneration Potential of the Newly Developed Uncalcined/ Unsintered Hydroxyapatite and Poly-L-Lactide-Co-Glycolide Biomaterial in Maxillofacial Reconstructive Surgery: An In Vivo Preliminary Study	Materials. 2021;14:2461.	内尾 祐司	門田 球一 馬庭 壯吉
江藤 剛	甲第641号	2024年 3月22日	Cancer Care for People With Mental Disorders: A Qualitative Survey Among Cancer Care and Psychiatric Care Professionals in Japan	Psycho-Oncology. 2021;30(12):2060-2066.	佐野 千晶	深見 達弥 角舎 学行
園山 里江	甲第642号	2024年 3月22日	Relationship Between Oral Bacterial Count and Postoperative Complications Among Patients With Cardiovascular Disease Treated by Surgery: A Retrospective Cohort Study	Healthcare. 2021;9(7):850.	林 健太郎	日高 匡章 矢野 彰三
SUSDIAMAN SUDIN YACCA	甲第643号	2024年 3月22日	Changes in Pituitary Gonadotropin Subunits and Hypothalamic Kiss-1 Gene Expression by Administration of Sex Steroids in Ovary-Intact Female Rats	Endocrine. 2024;83(3):733-746.	金崎 啓造	和田孝一郎 横田 茂文
ZHANG YUCHI	甲第644号	2024年 3月22日	Effect of High-fat Diet on Cerebral Pathological Changes of Cerebral Small Vessel Disease in SHR/SP Rats	GeroScience. 2024;46(4):3779-3800.	新野 大介	中村 守彦 荒木亜寿香
HOQUE MOHAMMAD MAHBUBUL	甲第645号	2024年 3月22日	Hydroxychloroquine Promotes Bcl-xL Inhibition-induced Apoptosis in BxPC-3 Human Pancreatic Cancer Cells	Anticancer Research. 2022;42:3495-3506.	浦野 健	新野 大介 飯笹 久
安田 優	甲第646号	2024年 3月22日	Incidence of Mid-Term Prognostic Events in Patients With Acute Coronary Syndrome During the Late 2010s in 2 Tertiary Hospitals in a Rural Area of Japan – A Temporal Comparison –	Circulation Reports. 2023;5:198-209.	長井 篤	岸 博子 矢野 彰三
LIU LU	甲第647号	2024年 3月22日	MELAS-Derived Neurons Functionally Improve by Mitochondrial Transfer From Highly Purified Mesenchymal Stem Cells(REC)	International Journal of Molecular Sciences. 2023;24(24):17186.	松本 健一	宮城 聡 桑子賢一郎
原野 晃子	甲第648号	2024年 3月22日	Surgical Results of Trabeculectomy Among Groups Stratified by Prostaglandin-Associated Periorbitopathy Severity	Ophthalmology. 2023;130(3):297-303.	山崎 修	藤田 幸 管野 貴浩
松本 亮	甲第649号	2024年 4月3日	Effective Use of the Hybrid Emergency Room System in the Treatment of Non-Traumatic Critical Care Diseases	The American Journal of Emergency Medicine. 2023;74:159-164.	岩下 義明	日高 匡章 楳 靖
石原 弘基	甲第650号	2024年 9月4日	Blocking Insulin-Like Growth Factor 1 Receptor Signaling Pathway Inhibits Neuromuscular Junction Regeneration After Botulinum Toxin-A Treatment	Cell Death and Disease. 2023;14:609-622.	藤田 幸	長井 篤 桑子賢一郎
UTOMO ANDI PANG NGURISENG	甲第651号	2024年 9月20日	Effect of Bone Density on the Drill-Hole Diameter Made by a Cannulated Drill Bit in Cancellous Bone	Journal of Orthopaedic Science. 2024:S0949-2658(24)00058-7.	管野 貴浩	馬庭 壯吉 山本 昌弘

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	発表雑誌名・年・巻・ページ	主査	副査	査
LIU YUXIN	甲第652号	2024年 9月20日	Exploring the Anti-EBV Potential of Suberoylanilide Hydroxamic Acid: Induction of Apoptosis in Infected Cells Through Suppressing BART Gene Expression and Inducing Lytic Infection	Virology. 2024;597:110161.	松本 健一	管野 貴浩	岡本 貴行
島崎 裕正	甲第653号	2024年 12月4日	Clinicopathological Comparison Between PTCL-TBX21 and PTCL-GATA3 in Japanese Patients	Cancer Medicine. 2024;13(3):e6793.	新野 大介	宮城 聡	竹谷 健
安部 哲史	乙第338号	2024年 3月5日	Altered Feedback-Related Negativity in Mild Cognitive Impairment	Brain sciences. 2023;13:203.	稲垣 正俊	林 健太郎	鞍嶋 有紀

学位の種類：博士（看護学）

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	主査	副査	査
井上かおり	看博第3号	2024年 3月22日	Development of Guidelines for Palliative Care of Elderly People Receiving Long-term Medical Care	橋本 龍樹	津本 優子	原 祥子

学位の種類：修士（医科学）

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	主査	副査	査
遠藤 圭介	医修第205号	2024年 3月22日	看護師の急変予測に関するバイタルサイン測定間隔の検討	原田 守	藤田 幸	岩下 義明
KHATUN MST MAHMUDA	医修第206号	2024年 3月22日	SARS-CoV-2 subgenomic RNA transcription is regulated by the interaction between nsp12 polymerase and nsp13 helicase	岩下 義明	原田 守	吉山 裕規
韓 威	医修第207号	2024年 3月22日	チロシンキナーゼ阻害剤によるがん細胞老化の誘導と senolytic drug による細胞死	藤田 幸	岩下 義明	原田 守
SABRINA HAQUE	医修第208号	2024年 3月22日	Each domain of extracellular matrix tenascin-X in cellular functions	岸 博子	吉山 裕規	竹下 治男
塚野 優	医修第209号	2024年 3月22日	学習データの違いによる MR 画像生成への影響	矢野 彰三	宮城 聡	楯 靖
難波 由衣	医修第210号	2024年 3月22日	地域在住健康高齢者における腎機能と歯数の関連性：観察的横断研究	楯 靖	矢野 彰三	管野 貴浩
FAHIMA TABASSUM	医修第211号	2024年 3月22日	Efficacy of paclitaxel against small cell lung cancer	管野 貴浩	松本 健一	磯部 威
安井 亘	医修第212号	2024年 3月22日	局所性ジストニア 1 症例における視床熱凝固術前後の安静時機能結合および神経可塑性の変化についての検討	宮城 聡	楯 靖	矢野 彰三
渡邊さつき	医修第213号	2024年 3月22日	口腔内の健康状態を考慮した食事摂取速度と HbA1c との関連性：観察的横断研究	松本 健一	岸 博子	管野 貴浩

学位の種類：修士（看護学）

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	主査	副査	査
石川 恵美	看修第185号	2024年 3月22日	新型コロナウイルス感染症流行下に介護医療院に入所した高齢者に関わる家族の思い	伊藤 智子	橋本 美幸	原 祥子
糸賀佳代子	看修第186号	2024年 3月22日	IVRに従事する看護師の看護実践能力とその関連要因	原 祥子	橋本 美幸	津本 優子
福田 真理	看修第187号	2024年 3月22日	化学療法を受ける切除不能消化器がん患者に関わる病棟看護師の心情	古賀 美紀	秋鹿 都子	原 祥子
原 恵	看修第188号	2024年 3月22日	手術室の実地指導者の役割遂行とその関連要因	橋本 龍樹	秋鹿 都子	津本 優子
三代 夏未	看修第189号	2024年 3月22日	集中治療室における高齢な終末期患者の高齢配偶者に対する看護実践	津本 優子	古賀 美紀	原 祥子
井川 優花	看修第190号	2024年 3月22日	クリティカルケア領域に配置転換した看護師の学習経験と職場適応および看護実践能力の関連	伊藤 智子	加藤 真紀	古賀 美紀
谷浦奈生子	看修第191号	2024年 3月22日	実地指導者を支える教育担当者の能力発揮に関連する要因	橋本 龍樹	加藤 真紀	津本 優子

「島根大学医学部紀要」投稿・査読要領

医学部欧文雑誌・紀要発行委員会

2011.6.1改訂

2016.6.7改訂

2020.6.17改訂

2024.7.25改定

2024.8.23改定

1. 投稿資格

投稿者は、島根大学医学部教員とする。それ以外の者が投稿を希望する場合は、著者の中に必ず島根大学医学部の常勤の教員が入らなければならない。

2. 原稿の内容

原稿は、他の雑誌に掲載済みではないもの、あるいは投稿予定のないものとし、日本語での投稿に限る。投稿された原稿で査読中のもの、あるいは掲載が決定したものを他の雑誌等へ投稿することは禁止する。すでに学会などで発表した内容が含まれている場合は、その旨を本文中に記載すること。図表やイラスト、写真などの掲載に際して著作権・肖像権等に関する処理が必要な場合は、投稿者自身が処理を行うこと。

3. 原稿の種類

- 1) 総説：特定のテーマに関し文献考察を行い研究を総括・解説したもの
- 2) 原著論文：独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されている研究論文で、形式が整っているもの
- 3) 研究報告：研究結果の意義が大きい論文
- 4) 実践報告：臨床及び教育に関する手技・技術や実践方法に関するもの
- 5) その他：症例・事例報告、資料、翻訳など上記に該当しないもので委員会が適当と認めたもの

4. 倫理的配慮

投稿論文の研究が、人間を対象とする場合は「ヘルシンキ宣言」の趣旨に沿って、動物実験の場合は所属機関の基準等を遵守して行われたものでなければならない。また、個人を対象とした研究・調査などについては「倫理綱領などのガイドライン」に基づき、研究・調査対象者の人権やプライバシーに十分配慮したものでなければならない。原著論文及び症例報告にあつては、倫理委員会の承認を得たものであることとし、その旨を論文中に明記する。また、ヒトを対象とした研究報告は、論文中に配慮した内容を詳細に記載する。

5. 査読

すべての論文等が査読の対象となる。

投稿を受け付けた論文等については、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会により選任された編集長（編集担当代表）が以下の査読過程を担当する。

- (1) 編集長は論文の概要と内容を検討し、投稿規定にあわないもの、内容が本誌の目的と異なるものについては一旦返却または不採用にする。このときにコメントの提示および投稿区分の変更を提案することもある。
- (2) 編集長は2名程度の査読者を指名し査読を依頼する。査読者は島根大学医学部教授、准教授、講師の他、編集長から要請があり且つ医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会が協議のうえ特に必要と認めた場合には、学外の査読者を指名することができる。
- (3) 投稿されたすべての種別の論文に対して、シングルブラインド方式により査読を行う。
- (4) 編集長は査読者の判定を参考にして、内容の再検討および修正を著者に依頼する。すべての査読者が不採用と判定した場合は査読を中止し、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会に報告する。査読者間で判定が大きく異なる場合は、査読者を変更してさらに査読を依頼することがある。これらの結果を踏まえたうえで、編集長は論文等の採否を決定する。なお、編集長が判断できない場合には、必要に応じて医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会で協議することができる。
- (5) 編集長は採用された論文について暫定的に「受理（Accept）」した旨のレターを発行することができる。

(6)編集長は上記査読過程を医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会に報告する。

上記査読過程をへて受理された論文等の医学部欧文雑誌・紀要への掲載は、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会で審議し、最終決定する。

採用された論文等の雑誌への掲載について疑義が生じた場合は、編集長に差し戻し、改善を求める場合もある。

6. 投稿手続き

- 1) 「論文投稿用紙」を医学部ホームページよりダウンロードし、所定の事項を記入し添付する。
- 2) 投稿原稿はWordファイルを、下記「12. 原稿提出先」にメール添付で提出する。

7. 執筆要領

- 1) 原稿は、ワードプロセッサを使用し、A4縦置き、横書きとする。
1 ページにつき36字×30行で作成する。和文の書体はMS明朝体10.5ポイントとし、句点は（。）読点は（、）とする。英文の書体はTimes New Roman 12ポイントとする。
- 2) 欧文文字、算用数字は2字1コマとする。
- 3) 原稿本文の字数制限（図、表、文献を含む）は下記のとおり。
図、表はA4版大で2,000字、A4版の1/2大で1000字、1/4大で500字程度に換算する。
 - (1) 総説：12,000字以内
 - (2) 原著論文：16,000字以内
 - (3) 研究報告：10,000字以内
 - (4) 実践報告：10,000字以内
 - (5) その他：8,000字以内
- 4) 和文要旨（400字以内）を付ける。また、原著論文には併せて英文要旨（200words以内）を付ける。
- 5) 原稿には表題紙をつけ以下の事項を記す。これらには英文を併記すること。
 - (1) 論文タイトル
 - (2) 論文の内容を的確に表現するキーワード（5個以内）
 - (3) 著者名
 - (4) 所属（異なる機関に所属する者の共著である場合、所属ごとに番号を付しその番号を著者名の右肩に示した上で、著者名の下に一括して記す）
 - (5) 連絡先（所属、メールアドレス）
- 6) 原著論文は、目的、方法、結果、考察、結論、謝辞、文献の順に記載する。それぞれの見出しの言葉は変更して構わない。他の論文も目的、方法、結果、考察、結論に準じて記載する。
- 7) 本文の見出し順位は、以下のとおりとする。
 - I. II. III.
 1. 2. 3.
 - 1) 2) 3)
 - (1) (2) (3)
- 8) 略語を用いる場合は、初出で正式用語とともに提示し、その後略語を用いることを明記する。
- 9) 単位符号は原則としてSI単位を用いる。
- 10) 図、表、写真は1枚の用紙に1つずつ記載し、図1、表1などの番号を付け、まとめて原稿の末尾に添付する。表にはタテ線は使用しない。本文中には、図、表が挿入されるべき位置を欄外に赤字で明記する。
- 11) 文献の記載方法は次の形式による。
 - (1) 本文の引用箇所に、引用順に1)、1,2)、1-4)などと肩番号を付す。
 - (2) 文献は、原稿末尾に一括して使用した順に記す。著者が4名以上の場合は、3名まで記載し、それ以外は、“他”または、“et al.”と省略する。
 - (3) 記載例
[雑誌の場合]
 - ① 著者. タイトル. 雑誌名（英語雑誌はイタリック）年; 巻: 頁-頁. の順に記す。

②オンライン雑誌の場合は、DOIを記す。

③雑誌名の略記は「医学中央雑誌」及び「MEDLINE(PubMed)」に従う。

・宮本まゆみ, 津本優子, 福間美紀, 他. 離床センサーを用いた転倒リスク患者の離床行動の実態調査. 医療の質・安全学会誌 2013;8(4):317-23.

・Haze S, Sasai K, Gozu Y. Effects of fragrance inhalation on sympathetic activity in normal adults. *Jpn J Pharmacol* 2002;90:247-53.

[単行本の場合]

①編著者. 書籍タイトル. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年 (:頁-頁). の順に記す。

・宇都宮宏子. 退院支援実践ナビ. 東京: 医学書院; 2011: 17-29.

②書籍の中の1章を引用した場合は、著者. 章タイトル. In: 編著者. 書籍タイトル. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年: 頁-頁. の順に記す。

・荒木美千子. 脳・神経疾患患者のフィジカル・アセスメント. In: 川本利恵子, 編著. フィジカル・アセスメント2: 看護診断編. 東京: メジカルフレンド社; 1998: 2-15.

③シリーズ中の書籍の場合は、シリーズのタイトルとその書籍の巻数を、出版年の後に記す。

・須永清, 落合敏. 栄養学. 東京: 真興交易医書出版部; 1991. 本田良行, 石川稔生, 編. 現代看護学基礎講座; 11.

[翻訳書の場合]

著者名. 書籍タイトル. (版数.) 出版年. 翻訳者名. 和書名. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年. の順に記す。

・Benner P. From novice to expert: Excellence and power in clinical nursing practice. 1984. 井部俊子, 監訳. ベナー看護論. 新訳版. 東京: 医学書院; 2005.

[Webの情報の場合]

著者または、団体名. タイトル. ウェブサイト名. (掲載日, アクセス日). の順に記す。

・厚生労働省. 健康日本21糖尿病. http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21_11/b7f.html. (アクセス日 2016.5.10).

8. 著者校正

著者校正は原則として1回とし、校正に際して大幅な加筆、修正は認めない。

9. 費用

掲載料は無料とする。別刷は著者の自己負担とする。

10. 発行

原則として年1回とする。

11. 著作権

1) 本誌に掲載された論文、抄録の著作権（電子版を含む）は、島根大学医学部に帰属する。本誌掲載論文を転載する場合は、出典を明示すること。

2) 本誌に掲載された論文は、島根大学附属図書館ホームページの島根大学学術情報リポジトリ (SWAN) で公開する。

12. 原稿提出先

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

島根大学附属図書館医学図書館「島根大学医学部紀要」編集事務担当

E-mail: m-kanri@lib.shimane-u.ac.jp